

2024年度 授業改善アンケート第3Q「教員コメント（学生に対するフィードバック）」

講義名	期間名	氏名	教員コメント
北海道誌	3 Q	塩崎 大輔	アンケート回答数は少ないが、おおむね満足という結果となった。 今後は人数に応じた最適な授業の進め方を改善していく。
社会学入門 (M)	3 Q	山本 一彦	定期試験結果を見る限り、全般的には良好な授業展開になったと受け止めている。自由記述が少なく、また具体的な指摘等も無いので分かりにくい部分もあるが、一定水準の授業内容理解を得られたと思われる。今後も、各授業項目で用いる社会事例の工夫などを心掛けたい。
社会学入門 (S・D・A)	3 Q	松下 守邦	「社会学入門」は、共通教育科目、修学基礎科目、人文社会科学11科目の一つであり、本学4学科のうちデザイン、建築、社会福祉の3学科が対象になります。2024年度は、社会福祉学科の教職課程（中学社会、高校公民）の必修科目のための配当科目になりました。社会学的思考の基礎、社会学の応用領域研究（デザイン、住宅設計、福祉社会学）紹介は、これまで通り授業内容に含めておりますが、あらたに教育社会学、社会学基礎理論について、Teamsコースパケットに参考資料を置きました。多くの皆さんがていねいに受講され、まずはシラバスを終了することができました。形成的評価の小作業フィードバックが予定よりも少なかったことが反省材料の一つです。小作業をやむを得ず欠席した学生の補講課題を事前に要するなどして改善をすすめます。
外国の歴史	3 Q	横田 肇	例年に比べ、学生の理解度と満足度がやや低かったのが残念である。毎年、ほぼ同じ内容の授業をしており、様々な要因があるが、年によって違いがあることは致し方がないかもしれない。大人数の授業であったので、受講態度の悪い人への対応は苦慮するところである。全般的に一定数の評価は得ているので、次年度も大きな変更はせず、改善に取り組みたい。
データサイエンス基礎	3 Q	薦田 勇智	アンケートへの回答ありがとうございます。本講義は、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの入門科目です。社会で使われているデータサイエンスを、しっかりと身に付けていると幸いです。
ソーシャルワークの基礎と専門職(専門)	3 Q	上原 正希	特別なコメント等はありませんでした。 概ね良好のようですが、より教育の質を高めていけるようにしていきたいと思います。
社会保障Ⅰ	3 Q	小早川 俊哉	この教科は幅広く・奥深いものです。できるだけ教科書に合わせた幅・奥に留める努力をし、図や表を使っています。福祉制度の基本ですので、何度も見直しをして頭の中に模写してください。
心理学と心理的支援	3 Q	吉澤 英里	アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。 概ね良い評価を頂けたと思っています。 この講義では毎回、コメントや要望を学生さんからいただき、その返答を次回の講義時間の冒頭にしていました。この仕組みを次年度も継続して、授業改善に活かします。
権利擁護を支える法制度	3 Q	上原 正希	特別なコメント等はありませんでした。 概ね良好のようですが、より教育の質を高めていけるようにしていきたいと思います。
保健医療と福祉	3 Q	宮崎 剛司	“より”満足していただけるように、適宜アンケートを実施し、その結果をもとに今後の授業に取り組みたいと思います。アンケート結果に応えるため、講義ノートをさらに丁寧に作成するなど、工夫や追加を行っていきます。
美術学概論Ⅰ	3 Q	竹内 美帆	今回の授業では、これまでと比べ、ディスカッションを多めに取り入れ、興味を引けるよう工夫しました。コメントなどから、おおむね好評をいただいていることがわかり、今後も続けたいと思います。スライドやレジュメをPDF化してTeamsにアップしたことも、理解力が向上したことに貢献したようです。授業の回数とレジュメに表記された回数が異なる場合があったので、その点は授業内で周知していきたいです。
美術学概論Ⅱ	3 Q	寺嶋 弘道	1日2講義のクォーター制のもとで2テーマを実施するという前提への理解を促すとともに、時間配分や事後学習の位置づけを明確化する必要がある。また、授業の目標とするところの一つは、学修者が自ら考察し、その思考内容を自身の言葉で表現することにあるので、単に知識や回答を得ようとする受動的な受講者の意識を変革するよう改善に努めたい。
福祉環境計画論	3 Q	佐々木 哲之	この科目は単元ごと学生の理解度を確認しながら授業展開をしていくため、単元ごと学生が理解・確認のため授業内容の整理の時間を設けた。今年度は講義ノートの作成を行い、それを課題評価の対象にした。結果、アンケートでは各項目とも満足いく評価につながり、試験も平均点が上がった。しかし限られた中での理解度の確認時間と授業進度のバランスが難しくこれからも工夫・努力したい。

経営管理論	3 Q	信濃 吉彦	概ね好評価を頂いたようでありがとうございます。なぜ教科書を写させるのかという質問が多々ありましたが、総じて学習してくれないからです。しかも、表や図を除けば丸写ししろとは言っておりません。ポイントをまとめて個人学習で得た情報等を合わせてノートにまとめて欲しいと言っているのです。宜しく願いいたします。また、時折授業と関係のない話をしますが、信濃の意見を開陳しているだけでつまらないと思ったら聞き流してください。但し、日本における大学の責務の一つとして、日本人を創造することは避けて通れません。その意味で雑談の内容を参考にして欲しいという思いはあります。強制でもなければ押し売りでもありません。どうするのが未来の日本にとってプラスになるのかを考えていただきたいと思います。
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ（1年）	3 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思います。
現代の精神保健の課題と支援Ⅱ（2年）	3 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思います。
精神障害リハビリテーション論	3 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。ご指摘を受け、実践の理解を可能な限り、具体的な話題を用いて説明しておりますが、不十分な点があったことを受け止め、今後も引き続き改善してまいります。また、試験の難易度は前年度同様であり、最低限の理解を問うものを中心に出題しておりますので、指摘にあるような「落とすための試験」という意図はありません。より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思います。
社会福祉施設の人事・労務・財務管理とリスクマネジメント	3 Q	上原 正希	特別なコメント等はありませんでした。概ね良好のようですが、より教育の質を高めていけるようにしていきたいと思います。
発達心理学Ⅱ	3 Q	蝦名 美穂	授業の内容、進め方について受講生からは「適切であった」という評価をいただきました。今年度は、講義で学習した内容をイメージしやすくするために子育てに関する映画を視聴しました。講義で学んだ内容をイメージしやすくなったという感想もレポートで報告されています。次年度も引き続き、受講生の学習の理解を確認しながら、進めていきたいと思います。
生涯学習概論Ⅱ	3 Q	藤根 収	ほとんどの受講者から授業内容がわかった、満足できる状況で高い評価をいただきましたが、ごく少数ながらそうではなかった受講者もいたようです。出席された学生の皆さん一人一人にわかりやすい授業を心がけましたが、今後ともより分かりやすく、関心持って受講できる授業づくりに努めてまいりたいと思います。
知的障害者の心理・生理・病理	3 Q	堀川 厚志	全体的にあまり満足できなかった学生が1名いると思われる。全員が満足できるように、テキスト改善、話し方進め方等、改善していく。
視覚障害教育総論	3 Q	木村 浩紀	眼に関する医学的な内容や点字、歩行等の自立活動など難しい内容もありましたが、概ね理解していただきました。今後も医学と教育を関連させながら、学校での授業がイメージできる講義を展開していきたいと考えています。
保育内容総論	3 Q	佐藤 慶知	アンケートの内容を参考にさせていただき今後の講義に活かしていけたらと考えております。
知的障害教育Ⅰ	3 Q	藤根 収	授業に出席ありがとうございます。アンケート結果は概ね高い評価をいただきました。今後とも学生の分かりやすい授業を心がけてまいりたいと考えております。
病弱者の心理・生理・病理	3 Q	千葉 聡美	7名の受講者中アンケート回収が4名で、よくわかったが半数という結果は真摯に受け止める必要がある。人数の少ない授業であればあるほど、積極的な参加を促す手立てが必要だった。指導すべき内容が多いということもあるが、講義中心。ではなく考えさせるパターンをもっと導入するようにしていきたい
民法	3 Q	青山 浩之	民法は第3クォーター月曜日4講目と木曜日3講目の科目で、履修者72名、平均出席者57名（平均出席率80％）という状況で、回答者が48名と回答率67％であった。授業の内容は興味や関心が持てたか、全体的満足度でも、高評価を受けた。記述のコメントでは、「聞きやすく受けやすかった」と評価を受けました。また「プリントの字が潰れていたり薄かったりで読めない部分があった」との指摘を受けました。これからも理解度を高め、興味や関心を持てるように工夫していきたい。
人文地理学Ⅱ	3 Q	塩崎 大輔	概ね満足という結果が得られた。 今後は使用するシステム等の最適化などを通して、授業を改善していく。
日本政治史	3 Q	後藤 啓倫	授業お疲れさまでした。歴史は過去のことを扱いますが、常に今の観点から振り返っていきます。自分を見つめなおすときと同じやり方です。現在と過去の往復を通じて自分と社会を相対化して見つめる視線をご自身の手で今後も養ってください。アンケートの結果は今後の授業に生かしてまいります。ありがとうございました。
音楽表現Ⅰ	3 Q	小黒 万里子	学生一人一人が前向きに授業に参加して、目標まで到達し、終える事が出来ました。個人差はありますが、実技・演習に重点を置いて更に自信を持てる様努力してください。

言語表現（1年）	3 Q	太田 俊一	1年生と2年生合同の授業であったが、それぞれの学年とも熱心に取り組んでいた。2コマ続きなので、概ね「1コマ目は理論」「2コマ目は演習」といった授業構成で行ったが、今後その日の内容によって、その比重を若干変えるなどの工夫を進めながら取り組んでいきたい。
言語表現（2年）	3 Q	太田 俊一	1年生と2年生合同の授業であったが、それぞれの学年とも熱心に取り組んでいた。2コマ続きなので、概ね「1コマ目は理論」「2コマ目は演習」といった授業構成で行ったが、今後その日の内容によって、その比重を若干変えるなどの工夫を進めながら取り組んでいきたい。
乳児保育Ⅱ	3 Q	吉江 幸子	前期に続き乳児保育Ⅱの受講有り難うございました。保育士課程の学生に加え留学生の受講もお互いの刺激になったようで一緒に実技演習や発表などを進めることができました。2講続きの授業だったので1回休むと欠席2となります。各回のレポート提出数も少なく評価に影響した学生もいますので自己管理が課題となるでしょう。アンケート結果は回答者の8割が満足度の高い結果となりましたので今後も演習や発表の機会を多く持つ内容で進めたいと思います。
社会的養護Ⅱ	3 Q	杉本 大輔	回答率が低く、コメントがないということは、つまらない講義だったということ。猛省する。
WEBデザインⅠ	3 Q	上坂 恒章	この授業は、WebデザインにおけるJavaScriptの学びが中心であるため、デザイン学科の学生にとって難しい分野であるが、Webデザイナーとして仕事をする上で、HTML,CSS,JSは必須であるので、理解度の向上に工夫して授業を進めた。3年生後期の授業であることもあり、就活を意識して「考える力」「主体的学び」「問題解決学習」を主眼において進めた。その結果、「適切である」「そう思う」以上で、各問で94%、100%との回答であり、理解度が「88%」思ったより良かった。但し、PC教室の殆どの学生が後ろに座っていたため説明が聞きづらいついて進めたので、今後は、前に座るように促したいと思う。記述式アンケートでは、「画面に出していた課題の説明が分かりにくく、戸惑ったことが少しあった」「つまづいたところは丁寧に教えてくださってとても良かったです。上坂先生の講義を受講できて良かったです。」
アニメーションⅠ	3 Q	梅田 真紀	授業全体への満足度において、100%肯定的な回答を得られました。アニメーションという表現方法において、新しい視点を提示できたのではと考えます。参考作品や、授業中の私語について意見をいただきましたので、改善したいと思います。
CG技法研究Ⅰ	3 Q	北嶋 洋一	オンデマンド教材を用いての授業について 進捗の確認と評価については未だ不明瞭な点があったと思われる。改善方法について考える必要がある。出欠について パスワードの再発行について 厳密にやりきれなかった点は反省している。正しく送受信している学生には不満が出ることにに対する配慮が足りなかった。資料について 授業後にPDFでの配布は行ったが それについての説明する機会までは設けていなかった。
東洋・日本美術史Ⅱ	3 Q	吉名 真	通史的な講義ではなく、主題やジャンル、技法別に取り上げるオムニバスの内容であったため、皆さんも頭の整理をつけるのが大変だったことと思います。それでも毎回真摯な姿勢で授業に臨み、それぞれ自分の言葉で作品の印象などを語ってくれたおかげで、とても気持ちよく講義を進めることができました。ありがとうございました。概ね高い評価をいただきましたが、「理解度の確認」がやや低かったので今後改善したいと思います。
保育内容演習Ⅴ(表現)	3 Q	吉江 幸子	保育内容演習Ⅴ（表現）の受講、有り難うございました。授業回数8回の中、実習の学生が多数いて日程変更や補講等にご協力いただきました、有り難うございます。グループによる模擬保育実践だったことで話し合いの時間が少なかったり準備不足の面も見られましたが不在の学生がいても補完し合いながら計画・発表ができました。また、実習後の学生は、現場で吸収した保育の技術を授業の中でも生かす姿をみることで、現場と机上の往還の学習の展開ができていたことを強く感じた時間でもありました。とても頼もしく感じました。
一級建築士演習Ⅲ	3 Q	小笠原 健	今年度から一級建築士特別養成コース所属の学生向けに開講した一級建築士演習の施工分野の講座である。徹底的に一級建築士試験対策を行っており、履修学生は来年度の一級建築士試験合格を目指している。全5科目ごとに各クォータで演習講座が設定されており、この一級建築士演習Ⅲの講座においても満足できるアンケート結果となっている。あくまで演習科目であるため、今までのスキルをアウトプットする講座であり、実力不足の履修学生にとっては過酷な講座であったと思料する。
建築計画Ⅱ	3 Q	安藤 淳一	現在公共建築は時代の流れの中で、生き残りをかけ再編成が進んでいます。授業でもできる限り最新の情報も事例解説してきました。これをもとに卒業設計に向け、これからの公共建築はどうあるべきか、そのためには何が重要かを考えるきっかけにしてほしいと思います。次年度もより最新の情報をもとに解説します。
建築法規Ⅱ	3 Q	佐藤 善太郎	マイクを使っても聞こえないというのは、聞いていないのだと思っています。他の授業もそうですが、概ね後方に座っている人ほど、授業中は話を聞いていない人が多い傾向にあります。前に座っている学生には、都度、判らないことが無いか確認しながら進めているつもりです。不明な点は訊いてください。

応用数学	3 Q	横山 哲也	理解出来ない学生がいないように講義を行う。
建築環境Ⅱ	3 Q	伊藤 裕康	講義資料はすべて配信するペーパーレス化に取り組み、多くの学生から支持してもらえたが、かえって分かりづらいと感じた学生もいた。今後は、ペーパーレスでも分かりやすい授業資料作成と授業内容を心掛けて改善していきたいと思います。
鋼構造	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。理解できた以上が96%、満足度できた以上が98%と高い評価を得ました。演習問題の提出をTeamsを利用して実施したことは好評を得ました。演習問題を通してよく理解できたとの回答もありました。演習内容やスライドの充実を図り、分かり易い授業を実施していきます。
建築生産	3 Q	小笠原 健	例年同様にほぼ履修者全員から満足したアンケート結果が得られた。この講座は、二級建築士試験4科目のうちの施工分野と1級建築施工管理技士試験に対応する講座となっており、建築士受験資格に関わる重要な科目である。よって、将来の国家資格受験に役立つだけでなく、4年次の卒業試験時に実力を問われ、卒業試験に合格するために必要不可欠な講座でもある。よって、実績型講義を行っており、昨年も同様な講義を行い、結果を残しており、今回の履修学生についても十分に講座の意義を理解してもらったうえで評価であると思料する。
測量学	3 Q	長森 正	授業改善アンケートのご協力ありがとうございました。本年度は試験前に2回の測量機器の実習をアトリエ棟で実施しました。また写真測量の実体鏡を利用した実習も併せて実施しました。座学講義の内容を実技で体験することは好評を得たようです。内容の理解度は理解できた以上が94%、充分満足できた以上が82%の評価を得ました。次年度以降も配布資料や授業スライドを充実させて、分かり易い授業を実施していきます。
コミュニケーション論	3 Q	山本 一彦	かなりの受講者数となってしまったため、同じ状況に対する受講者の評価が大きく分かれ、対応には苦慮するところである。時とし授業中断の問題も生じるが、意欲の高い学生の受講環境維持を最優先し、問題行動のある受講者にはやはり厳格に対処していきたい。
西洋経済史	3 Q	小林 大州介	第3Qお疲れ様でした！ 試験は結構難しかったと思いますが、3か月という短い期間での分量を、よく頑張ったと思います。今後も引き続き、気を抜かず頑張りましょう！。
トレーニング科学Ⅰ	3 Q	篠原 諒介	授業改善アンケートにご協力頂きありがとうございます。今回も多くの学生から「理解できた」という回答を得ることができ、安心しております。ですが、PowerPointの修正部分が見にくかったり、口頭のみで伝えてしまった部分などをご指摘をもらったため、今後改善し、より良い授業づくりを行ってまいります。
経営戦略論	3 Q	鈴木 重政	アンケート結果では満足度と理解度がよい評価となりましたが、試験結果はSが5%、Aが5%ではBとCが43%でした。特に冬の北海道観光ビジネスのSWOT分析の問題では、内部と外部の区別に自信がない学生も散見されましたので今後はその点も授業で改善する予定です。
経営戦略論（SP）	3 Q	鈴木 重政	アンケート結果では満足度と理解度がよい評価となりましたが、試験結果はSが5%、Aが5%ではBとCが43%でした。特に冬の北海道観光ビジネスのSWOT分析の問題では、内部と外部の区別に自信がない学生も散見されましたので今後はその点も授業で改善する予定です。
マクロ経済学	3 Q	河野 善文	アンケート結果の数字をみると、授業内容に対する興味や関心に若干の課題があるようにみうけられました。マクロ経済学は、数学的要素など抽象的な面もありますが、公務員試験等ではマクロ経済学にかんする計算問題も出題範囲となりますので、丁寧な説明を今後ともこころがけたいと思います。
国際経済論	3 Q	小早川 俊哉	パワーポイントは後で見れるようにするので、授業中はパワーポイントそのものよりも内容に注力するよう何度も説明をしました。授業中うるさい学生に対して、どのように注意喚起をしていたか、非言語的コミュニケーションを理解してください。
国際政治論	3 Q	後藤 啓倫	受講生の皆さん、授業お疲れさまでした。国際政治という身近には感じにくい話題について毎回の質問や感想をありがとうございました。アンケートでいただいたコメントを生かして、次年度の授業をより良いものにしてまいります。ありがとうございました。
スポーツ指導論	3 Q	高井 雅一	指導者としての心得や指導の在り方など、内容を精選して授業を進めていったつもりであったが、十分に理解されていなかったようである。グループ学習をもっと取り入れ、互いに考えさせる授業を展開していく。
レクリエーション概論	3 Q	尾西 則昭	コメントありがとうございます。皆さん方からいただいた授業改善評価を次年度に向けた現場で活用できるように資料、実践など、工夫と改善、アイデアに努めていきます。ありがとうございました。
イノベーションマネジメント論	3 Q	阿部 裕樹	事例をたくさん紹介することで、学生がノベーションに興味を持つような授業の構成を行いながら、理論の理解についても役立つような教材の充実を図ってきたいと思います。
ビジネス法務	3 Q	青山 浩之	ビジネス法務は、第3クォーター火曜日4講目と金曜日4講目の科目で、履修者47名、平均出席者36名（平均出席率77%）という状況で、回答者が28名であった。授業の内容は興味や関心が持てたか、全体的満足度でも、高評価を受けた。これからも興味や関心を持てるように工夫していきたい。

産業心理学	3 Q	吉澤 英里	アンケートへの回答をいただき、ありがとうございます。 概ね良い評価を頂けたと思っています。が、一部の学生さんにはご満足いただけていないという点は反省し、内容を再考します。 この講義では毎回、コメントや要望を学生さんからいただき、その返答を次の講義時間の冒頭にしていました。この仕組みを次年度も継続して、授業改善に活かします。
金融論	3 Q	小林 大州介	皆さん、第3Qご苦勞様でした。 試験を受けた人はみな、良く解答出来ていたので感謝です。残り少ない学生生活を楽しんでください！
スポーツ生理学	3 Q	天野 雅斗	今後は理解度を上げるために、実践的な内容を組み入れたり小テストを毎回実施することを実施する。
精神保健Ⅱ	3 Q	畠山 明子	コメントありがとうございました。より理解が深まる教材研究を工夫し、取り組んでいきたいと思います。
クラウド コンピューティング	3 Q	由水 伸	アンケート結果では概ね肯定的な評価で安心しました。 教員側から見て気になったのが、毎回欠席学生が散見され、準備とグループ学習に遅延が起こったことです。次回からはその影響を受けない仕組みを考えて、より良い学修に繋げたいと考えます。
コーチング 方法論	3 Q	伊藤 博	受講した学生の皆様が真摯に講義を受けて下さった姿勢に感謝致します。 より良い講義となるよう、アンケートの結果を今後活かしていきます。。 今回の講義が、単位取得だけに留まらず、今後の大学生活や社会生活に何かしら活用して頂ける事を切に願っております。 受講者全員の今後のご活躍を楽しみにしております。頑張ってください！
教育原理 (MDA・1年)	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が100%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」は、「適切だった」以上が100%でした。「最初はちょっとうざい、だるい先生ってイメージだったけど、真面目にやったらしっかり褒めてくれたり、評価してくれる、パソコンがバクって動かなかった時も呼んだらすぐ来てくれてコンピュータの先生じゃないのに素早く対応してくれる。心強い先生ではある。」「発表したら加点」という生徒個人の意欲、モチベーションを上げる工夫がしてあってよかったと思います。」「一度生徒が答えられなかった内容をもう一度授業で取り扱っており、生徒の授業理解に役立ったと思います。」「グループ発表の際にそれぞれのメンバーに役割をくれた。」「パワーポイントで資料を映しながら授業をして内容が頭の中に入りやすかった。発表した際に先生が追加で発表した内容について詳しい内容をさらに解説して下さいととても分かりやすかった。」「スライド等を使い授業を主に進めるという形でとてもやりやすかったのと、グループを作り色々な人と交流して意見交換をすることができるので、これから教員免許を取得していくにあたって、とてもいい経験になるなど改めて実感しました。」「自分たちで考えて班で共有し他の人の意見もたくさん聞くことができたのでとても興味を持ち授業に入り込みやすいと感じました。」「自分で考えてそれを発表したり他の授業ではない力が身につきました。」等の評価を励みに一層の改善・充実に努めます。
教育原理 (S・1年)	3 Q	西崎 毅	「授業満足度」は、「満足した」以上が95%、「熱意」は、「そう思う」以上が100%、「教材の適切さ」「話し方」「進め方」「理解度の確認」は、「適切だった」「そう思う」以上が95%でした。「時間配分がちょうどよく、いいスピードだった。」「色んな人と意見を交換できる色んな関わりができたので楽しかった。」等の評価を励みに一層の改善・充実に努めます。
特別活動の指導法	3 Q	大庭 隆	学生さんより、何点かアンケートによりご指摘をいただきました。初めて受け持った科目とは言え、満足した教職科目の講義とできなかったことを深く反省しております。限られた講義回数ということもありましたが、もう少しアクティブラーニング的要素も取り入れながらの一方的な講義とならないよう、次年度もチャンスがあれば、授業改善に積極的に取り組む覚悟であります。よろしく願い申し上げます。
生徒・進路指導論	3 Q	高井 雅一	グループでの討議・発表などを取り入れ授業を展開したが、十分に意見を交わすまでにはいかず、もう工夫が必要であった。更なるヒントを与えて、深く考え、充実した授業を進めていきたい。